

代表質問

鳥取県議会自由民主党



選挙区 米子市
野坂 道明 議員

総合戦略等の見直し

問 バックカスティング（※1）の政策立案を行うことが不可欠。目標を定量的、定性的に設定することが重要なポイントではないか。

答 今の制約の中で未来の理想像に近づけていくことを考えると違った手法が色々取れると思う。そうした視点をしっかりと入れた目標を作っていく。ワンチームで、小さくて強いところを目指し、ハンディキャップを我々の得意技としてやっていく。

災害対策と県土の強靱化

問 ハザードマップの浸水想定を考慮しながら、堤防の強化や河道確保等の河川整備について、重点的な予算配分が必要ではないか。

答 一定のハード対策は効果があり、ある程度前倒しで進めていく必要がある。

ある。ソフト対策と組み合わせながら取り組んでいく。

問 現在、信号機の停電対応措置は、地震対策として行われているが、あらかじめ必要箇所数を把握し、風水害も考慮した整備計画を立てる必要があるのではないか。

答（警察本部長） 次期計画策定の際には、風水害を含むあらゆる災害を想定して、計画的に整備を進めていく。

問 ペットと同居できる避難所や一時保護的なシェルターを検討する必要があるのではないか。

答 獣医師会とも協力体制を協議して協定を結び、受入体制や救出等を含めて対応を考えていく。

先端技術導入の促進

問 横串を刺して情報共有やモデル事業に取り組むため、庁内に検討会議を設けてはどうか。

答 Society5.0（※2）を推進する検討会議をつくり、有識者も入れてプランづくりを進めていく。

農林水産業の振興

問 本県の畜産業を守る獣医師の人

材不足は深刻。特に若年層の確保に取り組む必要があるのでは。

答 社会人の再就職として、公務員獣医師を積極的に開拓することも考えられる。新年度にマッチングを積極的に進めていく。

パラスポーツの振興

問 パラ国体などの誘致には宿泊施設がネックとなる。県として環境整備を誘導してはどうか。

答 いずれやってくる障がい者スポーツ大会もにらみながら、ホテル・旅館の障がい者対応を進める。

県内企業の働き方改革

問 労働者不足の問題がある建設業の働き方改革をどのように実行していくのか。また、連休やお盆休み前の発注に対する不満の声がある。工期設定を改善すべきでは。

答 週休二日工事の浸透を促進するとともに、関係者の声をよく聞きながら制度の改善を図る。年末年始やお盆休み等にわたる発注にならないように、時期を調整する。

命を大切にする教育の実践

問 命に関わる教育をより効果的に行う必要があるのではないか。

答（教育長） 命の大切さを心から実

感じ、現実の行動に反映できるように、家庭や地域等と連携した学びの環境づくりに努める。

児童虐待対策

問 通告義務など対処のルールを徹底するため、学校現場の実態を確認した上でマニュアルを策定する必要があるのではないか。

答（教育長） できるだけ学校が判断に迷わないよう、マニュアルの中できちんと示していきたい。

地域包括ケアシステム

問 後期高齢人口の増大に伴い、病院の機能は高度急性期等からリハビリ向けの回復期や慢性期に移行させる必要性が高まるのでは。

答 地域医療構想の調整会議等で具体的に議論することになるが、病床転換が一つのテーマである。

県民の健康増進

問 フレイル（※3）対策は行政による事業ではなく、民間の知見によるSIB方式（※4）を活用してはどうか。

答 米子での取り組みに注目。展開を加速させる意味でこうした手法が可能かどうか積極的に検証する。

※1 バックカスティング：未来の姿から逆算して現在の施策を考える発想 ※2 Society5.0：第5期科学技術基本計画において提唱された我が国が目指すべき未来社会の姿 ※3 フレイル：健康な状態と要介護状態の中間の状態をさす ※4 SIB方式：官民連携の仕組みの一つで、行政や民間事業者及び資金提供者等が連携して行う手法